

# [JAのエースを目指す！] [園芸用殺虫剤ジェイエース]

## ジェイエースの開発背景

特許が切れた農薬について、登録に必要なデータ（安全性や効果データなど）を準備して登録販売する剤をジェネリック農薬と呼びます。ジェイエースは、全国農業協同組合連合会（JA全農）がペンコゼブに次ぐ「**第2弾のジェネリック農薬**」として開発したアセフェート剤です。

JAグループ自らが普及・販売するという開発および流通上、今までに例のなかった農薬です。粒剤と水溶剤があり、野菜類などのチョウ目害虫やアブラムシ類を中心に登録を取得しています。効果発現が速く、残効性も長いのが特徴です。



## ジェイエースの特長

### ① 速効的に効く（粒剤・水溶剤）

ジェイエースの有効成分のアセフェートは、害虫の神経にすばやく作用し効果を示すため、チョウ目害虫やアブラムシ類を中心に、速効的に殺虫することができます。

### ② 残効が長く、浸透移行性に優れる（粒剤・水溶剤）

ジェイエースは残効期間が長く、薬剤防除の省力化につながります。また根から吸収させるときの浸透移行性が高く、ムラの無い殺虫効果を発揮します。

### ③ 薬液調製時の粉立ちがなく、作物の汚れも少ない（水溶剤）

ジェイエース水溶剤は、水に溶けやすいように製剤化しているため、薬液調製時の粉立ちが少なく、調製後の液に沈殿が生じません。作物が汚れる心配が少ない薬剤です。

## ジェイエース上市による功績

ジェイエースの開発・登録・製造をJA全農が実施したことにより、安価なジェネリック農薬として上市することができました。結果的に、先行のアセフェート剤が価格競争のため値下げされ、アセフェート剤全体の価格引き下げを実現しました。